

先着順！

First Come First Served

2012年06月14日



JOMF 特別企画セミナーのお知らせ:

第14回海外赴任者支援対策セミナーのご案内

『熱中症と夏場に多い下痢症への対策』

日ごろは格別のご高配を賜りありがとうございます。

弊基金では、2010年3月4日ホテル銀座ラフィナートでの試行開催以降、合計12回のJOMF特別企画セミナーを開催してまいりました。また、7月3日に予定しております第13回セミナーもすでに満席となり、6月13日には、参加者募集の打ち切りをさせて戴きました。短時日のうちに多くの方からのお申込みがあったことに、セミナーを企画推進しているものとして、喜びに堪えません。心より感謝申し上げます。

【海外渡航者の渡航者下痢症は一か月に2～6割！】

海外滞在を一か月した場合に渡航者下痢症にかかる人の割合は、20～60%にも上るそうですが、この情報、皆様にはご存知でしたでしょうか？海外滞在期間が2か月近く、或いは3か月ともなれば、ほぼ全ての方が渡航者下痢症にかかると言い換えても過言ではありません。

【熱帯地方など暑さの厳しい地域での熱中症と下痢】

今回、夏場の暑い最中に日本でも多発する『熱中症』や、食物管理上の問題やおなかを冷やすことで起きやすいと言われる『夏場の下痢症』への対策について、株式会社大塚製薬工場の近藤庸得室長(薬学博士)と、サラヤ株式会社の鎌倉直樹室長のお二人から、お話戴けることになりました。

【夏場実施の背景】

夏場に実施することにしたのは、日本国内にいらっしゃる皆様に夏の雰囲気を感じて戴きたかったからではありませんが、赤道に近いインドネシアやマレーシア・タイ等では一年を通じて『真夏』です。食物の保管状況が悪かったり、冷房の効きすぎた室内で眠ることでおなかを壊して下痢になったりするリスクも高まりますし、日差しのきつい中での運動や作業を監視される立場に立たれる方たちには、熱中症のリスクも高まる、ということになります。また、上述の渡航者下痢症の多さが発表されています様に、下痢症についての対策は、駐在員やそのご家族だけではなく、海外に出張をされるかたにも覚えておいてほしい知識にもなると確信しております。

【ソリューションのご提供の場】

そのようなときにどのような処置をすればよいのか、また、どの様にしてリスクを低減することができるかについて、今回のセミナーで学ぶことができるのではないかと考えてこのセミナーを企画した次第です。

尚、会場スペースの関係で、申込者数多数の場合は、基本的に先着順で閉め切り、満員になった際には、メールおよび弊基金のHPにてその旨お知らせいたします(案内状も含めて郵送はしません)。

<<担当>>

財団法人 海外邦人医療基金

業務部 宮本・澤田

TEL: **03-3593-1001**

FAX: 基本的に使用不可

E-mail: seminar@jomf.or.jp (セミナー専用アドレス*)

(JOMF セミナーに関する交信は全てこのアドレスで!!)

セミナーの概要

日時: 2012年7月12日(木) 13:00 開場(セミナー時間 13:25~16:30)

会場: 虎ノ門 SQUARE2 階会議室:
東京都港区虎ノ門 1-15-10 名和ビル 2F

http://spaceuse.net/toranomon_square/

地下鉄銀座線 虎ノ門駅 徒歩 2~3分

地下鉄虎ノ門駅4番出口階段を上がり、出たところでUターン、すぐに桜田通り(30m道路)が見えるのでこれを左折(南下)し 150m 程進むと虎ノ門一丁目交差点(目印は右斜め前にある中国国際航空(Air China ビル))に出ます。ここを渡らずに左折(東進)してすぐにある「喫茶店ベローチェ <http://www.chatnoir-jp.com/map/index.php?store=224#224>」の入り口左側にある入り口からエレベーターでお上がり下さい。

定員: 最大 36名

対象: 海外進出企業の「人事・総務部門ご担当者」及び「産業医・看護師」等

費用: 無料

主催: 財団法人 海外邦人医療基金(JOMF)

プログラム:

開会の辞及び事務局からのご連絡:

13:25~13:35(10分)

1. 基調講演:

13:35~14:55(80分)

「熱中症や下痢による脱水対策 ~経口補水液の使用について~」

株式会社大塚製薬工場 OS-1 事業部 栄養研究室

室長・薬学博士 近藤康得氏

2. 休憩:

14:55~15:05(10分)

3. 講演:

15:05~15:45(40分)

「夏場の衛生と予防

~発生リスクの高い熱中症と食中毒の観点から~」

サラヤ株式会社 マーケティング開発推進室

室長 鎌倉直樹氏

4. 自由懇談:

15:45~16:15

5. Q&A 及びアンケート記入:

16:15~16:30

参加費用: 無料(会員限定)

申込締切り: 定員に達し次第締切

添付申込用紙にご記入戴き、メール添付の上、seminar@jomf.or.jp 宛ご返送下さい。

JOMF会員で、メールが使えないという方は(メールアドレスや電話番号等、弊方による読み取り間違いのリスクはありますが)、やむをえませんので 03-3502-1229 迄 FAX 下さい。

.....

講師プロフィール:

.....

近藤 康得氏:



株式会社大塚製薬工場 OS-1 事業部 栄養研究室 室長
薬学博士

1988年7月 薬剤師免許取得
1993年3月 岡山大学薬学部にて薬学博士を取得。専門は生化学
1993年4月 株式会社大塚製薬工場の研究所に配属(徳島県鳴門市)
入社以来、研究開発業務に従事。『栄養』をキーワードに、
糖尿病や肝臓病の代謝性疾患を主な研究対象として活動。
2006年より、事業部の室長となり今日に至る。
担当製品としては、経口補水液 OS-1、濃厚流動食、摂食嚥下困難用食品などを、
製品の全般にわたる企画立案、基礎研究、臨床研究等を担当。

鎌倉 直樹氏:



サラヤ株式会社 東京サラヤ株式会社
マーケティング開発推進室 室長

1994年 東京サラヤ株式会社入社。
入社後、公衆衛生・労働衛生のクライアントを中心に10年間の営業職を経て
2004年 サラヤ株式会社へ転籍。
2010年11月より企業・法人様向け国内セールス統括部長。
現在はマーケティング開発推進室長を務める。
2004年 公衆衛生・疾病対策のための情報レーベル「感染と予防」を設立し編集長
に就任。定期刊行誌・WEBを展開。
2009年11月、同レーベルより、書籍「新型インフルエンザ騒動から学ぶ 本当の
感染症対策」を専門家と共同発刊。
2010年1月より社団法人 日本WHO協会 参与を兼任。